

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

7.2V 水平器付き 充電 ドリルドライバー

型番:KT-08

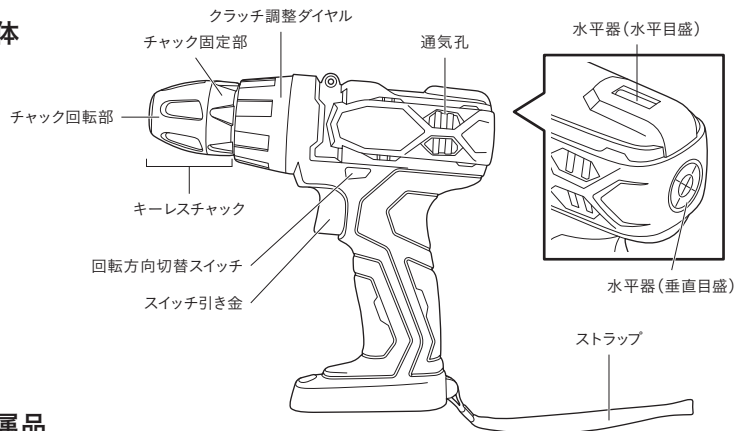
要確認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

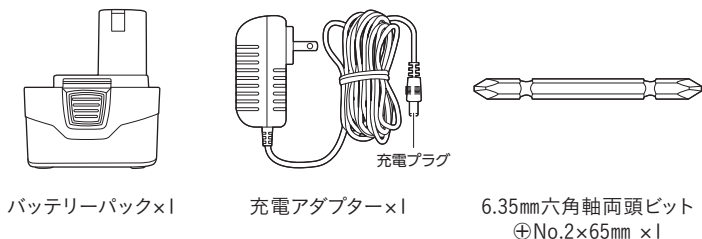
- 付属品が全て揃っているか
- 破損した箇所はないか

万一、不具合な点がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

●本体



●付属品



お客様へ

本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

本製品について

用 途

◆ねじなどの締め付け・ゆるめに ◆木材・樹脂・軟鉄板等の穴あけに

仕 様

本体

モーター電圧	DC7.2V	クラッチ数	17段(最小1～最大17)
充電時間	最大約80分※	チャック能力	φ1.0～10mm
無負荷回転数	約0～500min ⁻¹	本体サイズ	約幅55×奥行188×高さ235(mm)
最大トルク(▲設定)	約8.0N・m(約81.6kgf-cm)	質量	約1.15kg

※気温・バッテリー残量によって充電時間が変化します。

※充電完了時、点灯(赤)していた充電ランプは消灯します。

バッテリーパック(BP-7202CZ)

電池種類	ニカド電池
電圧	7.2V
容量	1.3Ah

充電アダプター(BC-7202)

電圧	AC100V	出力電圧	DC12V
周波数	50/60Hz	コード長	約1.8m

※本製品は専用バッテリーパック(BP-7202CZ)以外使用できません。

※製品改良のため、仕様・外観は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

能 力

フル充電1回あたりの作業量目安(周囲温度20℃)

	ねじ・ドリル寸法	材 料	数
ねじ締め	木ねじφ3.5×25mm	米松	約80本
穴あけ	木工ドリル刃φ10mm	2×4材	約45回
	鉄工ドリル刃φ8mm	鉄板 厚1.6mm	約35回

※数値は目安ですので、使用状況により異なります。また、締め付本数は締め時間が長くなるほど少なくなり、短くなると増えます。

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。
- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取扱いなどに関する重要な注意事項

充電工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

※本文中の「充電器」は「充電アダプター」を、「バッテリー」は「内蔵バッテリー」を含みます。

警告

1. 専用の充電器やバッテリーを使用してください。

- 指定以外の充電器でバッテリーを充電しないでください。非再充電形バッテリーは絶対に再充電しないでください。
- 指定したバッテリー以外は専用充電器で充電しないでください。(火災・破裂の原因)

2. 正しく充電してください。

- 充電器は必ず家庭用AC100V 50/60Hz電源で使用してください。発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。
- 取扱説明書に記載された充電温度範囲外で充電しないでください。(火災・破裂の原因)
- 直射日光下・高温多湿な場所・雨中・粉じん・ごみ等が多い場所・異常な振動又は衝撃が発生する所では充電しないでください。
- 換気の良い場所で充電してください。
- 充電中に充電器・バッテリーを布等で覆わないでください。(火災・破裂の原因)
- 充電するときは充電器とバッテリーの⊕⊖の方向を間違えずに取付けてください。(火災・故障の原因)

お使いになる前に(続き)

- 使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。(火災・感電の原因)
- 充電中「焦げ臭い」「煙が出る」等の不具合が発生しましたら、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電器の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。

3. バッテリーの端子間をショートさせないでください。

- バッテリーと金属を工具箱や釘袋等と一緒にして保管しないでください。(火災・破裂の原因)
- 釘などが充電プラグ差込口に入り込むとショートするおそれがありますので、注意してください。(火災・破裂・発煙の原因)

4. バッテリー・充電器を火中・水中に入れないでください。(破裂・けがの原因)

5. バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

6. 使用できる時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

7. 作業場所はいつもきれいに保ってください。

- 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになる物は取り除いてください。

8. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 作業場は十分明るくしてください。
- ガソリン・シンナー・塗料・接着剤等引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。また、充電もしないでください。(爆発・火災の原因)
- 濡れた場所や湿気が多い場所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)

9. 作業者以外を近づけないでください。

- 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。

10. 作業に適した服装で作業してください。

- 作業をするときは保護めがねを着用してください。
- 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。
だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれるおそれがあるので着用しないでください。
- 軍手など巻き込まれるおそれのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)等防音保護具を着用してください。

11. 損傷した部品がないか確認してください。

- 製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆرمい・ひび割れ等本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音等がないことを確認してから使用してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

12. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。
また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるけがの原因)

13. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 使用する前に、調整・取付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

14. 作業に合った充電工具を使用してください。

- 小型の充電工具やアタッチメントは大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

15. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、充電工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

16. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取扱いや充電器の電源プラグの抜き差しはしないでください。
(感電の原因)

17. 通気孔をふさがないでください。

- 通気孔は本体や充電器を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

18. 充電器などのコードの取扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず充電器の電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のとがった場所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因) 破損したときはお買上げの販売店に修理を依頼してください。
- コンセントから充電器の電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグやアダプターを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業員以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器を設置することをお勧めします。

お使いになる前に(続き)

19. 不意な始動はさけてください。

- 充電工具を移動する場合や付属品を交換するときは、スイッチに指をかけないでください。(けがの原因)

20. 材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力等で固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

21. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近付けないでください。(けがの原因)

22. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況等に十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

23. やけどに注意してください。

- 使用直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

24. 定期的に点検してください。

- 充電器の電源プラグや充電工具本体・充電器の通気孔にほこりや粉じん等が付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

25. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
- 充電工具本体やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に保管しないでください。

26. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

27. ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時は直ちにスイッチを切って本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。

また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

注意

1. 延長コードを使用する場合

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項等をよく読み、正しく使用してください。

2. 騒音に注意してください。

- 法令及び各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

3. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(けがの原因)

4. こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(故障・破損の原因)

5. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光の当たる場所・高温になる場所には放置・保管しないでください。変形・変色・劣化のおそれがあります。

お使いになる前に(続き)

本製品を安全にお使いいただくために

警告

1. バッテリーパックの充電は温度が10～35℃の範囲で行ってください。
 - 範囲外の温度で充電すると、破裂・火災の原因となります。
2. 指定の先端工具・バッテリーパック・充電器以外は使用しないでください。
(事故・故障の原因)
3. 使用する先端工具の使用方法・注意事項をよく読み、その指示を守って安全に作業してください。
4. 作業前に必ず埋設物がないことを十分に確認してください。
 - 作業中、埋設物(電線管・水道管・ガス管等)への接触による感電及び、穴あけによる水漏れ・ガス漏れ等のおそれがあります。
5. 加工する対象物の中に異物(釘や鉄筋等)がないことを十分に確認してください。
 - 加工中、異物に先端工具が触れると破損するだけでなく、強い反発力が生じけがの原因となります。
6. 使用中は、本体を確実に保持してください。
 - ねじ締め開始・終了直前に強い反発力が生じます。また、穴あけ作業中は本体が振り回されることがありますので、確実に保持していないとけがの原因となります。
7. あまりにも小さな物のねじ締め・穴あけは危険ですのでしないでください。また、加工する物はクランプ・万力等でしっかりと固定してください。
 - 不安定なまま作業するとけがの原因となります。
8. 先端工具を交換する場合や持ち運ぶとき等作動すると危険な場合は回転方向切替スイッチを中央にしてください。
9. 回転中の先端工具や切りくずの排出部は危険ですので、絶対に触れないでください。
10. 取扱説明書に記載されている用途、又は能力以上の作業には使用しないでください。特にモーターをロックさせるなど、無理な使用をしないでください。
 - 本製品は石材・コンクリート・タイルの穴あけには使用できません。ドリル刃や加工物が破損するおそれがあります。
11. 作動すると危険な場合は、バッテリーパックを取り外してください。
12. バッテリーパックは発煙・発火・破裂のおそれがあります。次のことを守ってください。
 - 端子に金属を接触させないでください。
 - 釘や硬貨等が入った袋や箱の中に入れないでください。
 - 釘を差したり、強い衝撃を与えないでください。
 - 雨や水に濡らさないでください。

13. 火災のおそれがあります。次のことを守ってください。

- 段ボールなどの紙類・座布団等の布類・畳・カーペット・ビニール袋などの上では充電しないでください。
- 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

14. 充電アダプターの充電プラグには金属片・木等の異物や水を入れないでください。

15. 充電アダプター・バッテリーパック内部に水が入ってしまった場合は、絶対に使用しないでください。(事故・故障の原因)

16. 充電アダプターは充電以外の用途に使用しないでください。

注意

1. 本製品は家庭用です。建築作業など精度が必要な作業には使用しないでください。

2. 先端工具や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

3. ねじに合った先端工具を使用してください。

- 使用する先端工具がねじに合った物でない場合、ねじをいためる原因となります。

4. ねじ締め終了直前に強い力が働きます。ドライバビットの先端は、ねじ頭の溝に完全に差し込んだ状態で使用してください。

5. キーレスチャックの開閉は、必ず手で行ってください。スイッチ引き金を引き、回転を利用して開閉すると、チャックのツメがロックされる場合があります。

6. モーターの回転中に、回転方向切替スイッチを操作しないでください。

- 無理に回転方向を切り替えようとすると、モーターに負担がかかり故障の原因となります。

7. 低速回転でモーターが停止するような作業を連続して行うと故障の原因となります。

8. 回転部に切りくずやごみ等が入らないように注意してください。入った場合は逆さにするなどしてごみを取り除いてください。

9. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

10. フル充電状態のバッテリーパックを再充電しないでください。

11. 充電アダプター及びバッテリーパックが熱を持ったままでは正常に充電できません。

- 充電する前に、必ずバッテリーパック・充電アダプターが十分冷めていることを確認してください。

お使いになる前に(続き)

- 1台の充電アダプターで複数の充電を続けて行う場合、必ず30分以上間隔をあけてください。
 - 使用直後のバッテリーパックは過熱状態になっていますので、充電する前に必ず十分な冷却時間を設けてください。
- 12. バッテリーパックの連続使用は2個までにしてください。(故障の原因)**
- 連続使用する場合は本体を十分に冷ましてください。
- 13. 本体は常温(5～40℃)で使用してください。**
- 14. 取扱説明書に記載されている最大トルクを超える作業(タイヤ交換など)には使用しないでください。**
- 15. 本製品はしいたけビットなど特殊な先端工具には使用しないでください。(故障の原因)**



- 1. モーターの始動・停止及び回転中に本体の通気孔から火花が見えることがあります、故障ではありません。**
- 2. 充電アダプター・バッテリーパックについて**
- ご購入いただいた状態ではバッテリーに充電されていない場合があります。充電を行ってから使用してください。
 - 充電中、充電アダプターやバッテリーパックはある程度熱を持ちますが、故障ではありません。
 - 新品の状態や長期間充電されていなかったバッテリーパックは電池容量が低下し本来の能力を発揮できない場合があります。この場合、2～3回充放電を繰り返すと電池容量が回復します。
- 3. 締付時間・締付トルクについて**
- 小さいトルクしか必要としないねじなどに大きなトルクをかけると、ねじ頭の溝が破損するおそれがありますので、注意してください。
 - 締め付けトルクはバッテリーの充電状態により変化します。バッテリーの残量が少なくなると、急激に締め付けトルクが低下します。
- 4. 低温のときの特性について**
- 低温(約10℃以下)の場所で保管された後の使い始めは、十分なトルクが発揮されない場合があります。その場合は暖かい場所で数十秒、空回しすることで本来の能力を発揮します。

使用前の準備

充電方法

⚠ 警告

- 温度が10℃未満、又は35℃以上ではバッテリーを充電しないでください。
- 必ず専用の充電アダプター・バッテリーパックを使用してください。また、充電アダプターの電源は必ず銘板に表示してある電圧(家庭用AC100V)で使用してください。
- 袋などの上に置いたり、中に入れた状態で充電しないでください。(火災・故障の原因)

ⓘ 注

- お買上げ時は、バッテリーパックは十分に充電されていない場合があります。ご使用前に充電アダプターで正しく充電してから使用してください。
- 使用直後のバッテリーパックや充電直後の充電アダプターは充電しない場合があります。1時間以上(室温25℃時)冷ましてから再度充電してください。
- 充電中、充電アダプター・バッテリーパックはある程度熱を持ちますが、故障ではありません。
- 新品の状態や長期間充電されていなかったバッテリーパックはフル充電できない場合があります。その場合、2～3回充放電を繰り返すと本来の能力を発揮します。
- バッテリーパックと充電アダプターの端子部分にごみづまりがある場合は、取り除いてください。
- 充電時間は周囲温度やバッテリーパックの状態により変動します。

バッテリーパックの取付け・取り外し

⚠ 注意

- バッテリーパックの取付け・取り外しをするときは、P13を参照して、回転方向切替スイッチを中央の固定位置に合わせてください。

● 取り外し

本体を持ち、2箇所あるボタンを押しながらバッテリーパックを矢印方向へ引きます。

● 取付け

取り外しの手順とは逆の手順で行ってください。

- ・ 本体とバッテリーパックの向きを合わせ「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。
- ・ バッテリーパックがしっかり固定されていることを確認してから使用してください。



使用前の準備(続き)

充電方法

1. 充電アダプターの充電プラグをバッテリーパックの充電プラグ差込口に差し込みます(①)。
2. 充電アダプターをコンセントに差し込みます(②)。充電ランプが点灯することを確認してください。

※本体使用直後などバッテリーパックが高温状態のときは、保護装置により充電ランプが点灯していても充電されません。充電アダプターをコンセントから抜いて1時間以上冷ましてから再度充電してください。

3. 充電が完了すると、充電ランプが消灯します。充電アダプターをコンセントから抜いて、バッテリーパックから充電アダプターの充電プラグを抜いてください。

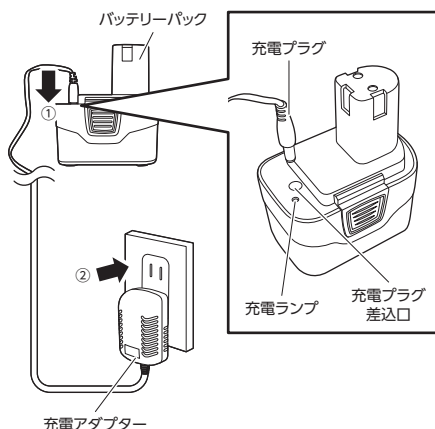


表 示	状 態
点灯(赤)	充電中
消灯	充電完了

⚠ 注意

充電時間が短すぎる場合

● 充電時間が規定時間(約80分)に大きく満たない時間で終了してしまう場合、充電異常になっていた恐れがあります。バッテリーや充電アダプターを十分に冷ましたうえで再度充電を行ってください。それでもフル充電出来ない場合は、バッテリーもしくは充電アダプターの故障が考えられます。

充電時間が長すぎる場合

● 充電時間が80分を著しく超えても、充電が完了しない場合はバッテリーもしくは充電アダプターの故障が考えられます。ただちに使用を中止してください。

充電異常が復旧しない場合または、バッテリーおよび充電アダプターの故障が考えられる場合は、ただちに充電アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止して、お買い上げの販売店にお申しつけください。

使い方

先端工具の取付け・取り外し

⚠ 警告

- 先端工具の取付け・取り外しのときは、バッテリーパックを取り外してください。
- 作業中・作業直後の先端工具や加工物・切りくず等は非常に熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)

⚠ 注意

- 先端工具は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- キーレスチャックの開閉は、必ず手で行ってください。スイッチを入れ、回転を利用して開閉するとチャックのツメがロックされる場合がありますので絶対にしないでください。

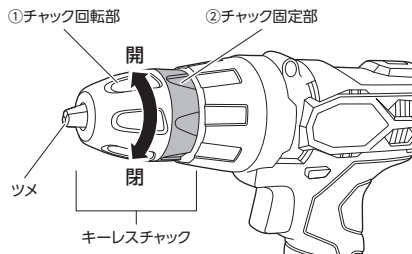
⚠ 注

先端が右図のようになっているときは、チャックのツメが開ききっています。「閉」の方向に回してください。



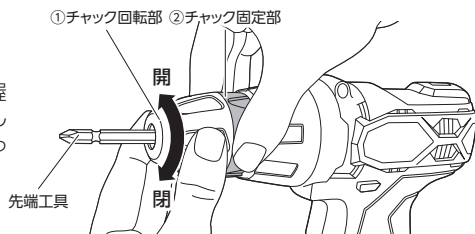
取付け方

1. キーレスチャックの②チャック固定部を握り、①チャック回転部を矢印の「閉」の方向に回し、取り付ける先端工具の太さよりも、チャックの開きが狭くなるようチャックを閉じます。
2. 先端工具の根元側をチャックの先端に合わせ、①チャック回転部を矢印の「開」の方向に徐々に回しながらチャックを開き、先端工具をチャックの奥まで差し込みます。②チャックの固定部をしっかりと握り、①チャック回転部を矢印の「閉」の方向に回して、先端工具を緩みのないように締めてください。



取り外し方

- キーレスチャックの②チャック固定部をしっかりと握り、①チャック回転部を矢印の「開」の方向に回して、チャックのツメを開いて先端工具を抜き取ってください。



使い方(続き)

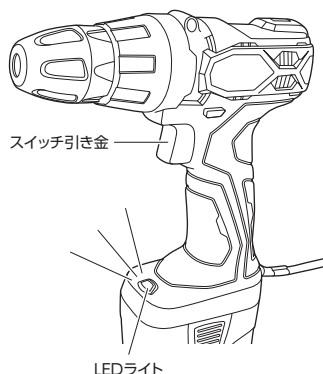
操作方法

スイッチ引金の操作・LEDライト

⚠ 注意

- 点灯中のLEDライトを長時間近くで見続けしないでください。目をいためる恐れがあります。
- LEDライトのみを点灯させた状態で使用しないでください。(故障の原因)

- スイッチ引金を引くと回転し、LEDライトが点灯します。スイッチ引金を戻すと回転が止まり、LEDライトは消灯します。
また、スイッチ引金の引き具合により回転数を調整できます。

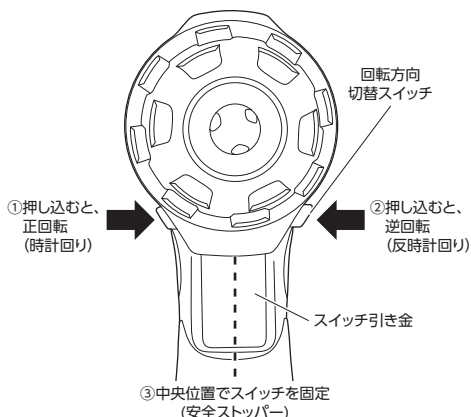


回転方向の切り替え

⚠ 注意

- 回転方向の切り替えは、モーターの回転が完全に停止した状態で行ってください
- 回転方向を切り替えるときは、回転方向切替スイッチを完全に押し切ってください。

- 回転方向切替スイッチを押し込むことで、回転方向の切り替えができます。
- また、回転方向切替スイッチを中央位置にすることで、安全ストッパーが働きスイッチ引金を固定することができます。



クラッチの調整

⚠ 注意

- クラッチ調整ダイヤルは、カチッと音がするまで完全に切り替えてください。切り替えが完全でない場合、故障の原因となります。

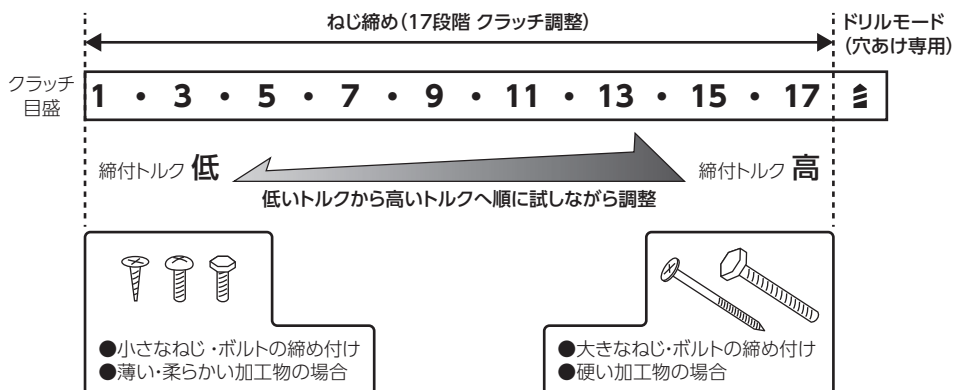
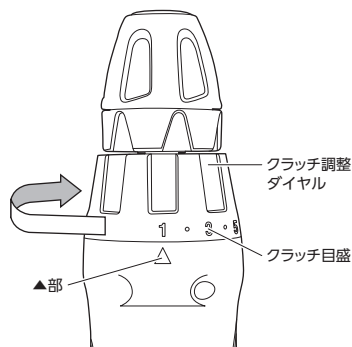
注

- 薄い・柔らかい天井材・接続端子のねじ締め等で、ねじ頭の溝やねじ山をいためるおそれがある場合には、必ず低いトルクから順に試しながら適切なトルクになるよう調整してってください。
- 木材・プラスチック等へのねじ締めで締付トルクを高めに調整しているときは、条件(相手材の硬さなど)によってはクラッチが作動しない場合があります。この場合、強い反発力が生じますので、確実に本体を保持してください。

- 本製品はねじを締め付けるトルクを17段階に調整することができます。設定以上のトルクがかかると、クラッチ機構が働きカラ回りして、締め付け過ぎやねじの破損を防ぎます。

- クラッチ調整ダイヤルを回転させ、本体上部の▲部にクラッチ目盛を合わせてください。トルクは、1・3・5～17 → ㊦の順に強くなります。低いトルクから順に試しながら高いトルクに調整していき、作業に応じたトルクに調整してください。

- 穴あけ作業の場合は、クラッチ目盛をドリルマーク(㊦)位置に合わせてください。ドリルマーク(㊦)位置の場合、クラッチは作動しません。



使い方(続き)

作業方法

⚠ 警告

- 作業中は、本体を確実に保持してください。作業中は本体が振り回されることがありますので、確実に保持していないとけがの原因となります。
- 作業中・作業直後の先端工具や本体・加工物・切りくず等は非常に熱くなっています。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(やけどの原因)

⚠ 注意

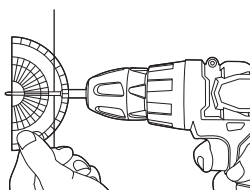
- モーターをロックさせるなどの無理な使用はしないでください。
- 本体は常温(5~40℃)で使用してください。
- バッテリーパックの連続使用は2個までにしてください。また、連続使用する場合は本体を十分に冷ましてください。(やけど・故障の原因)
- 低速回転でモーターが停止するような作業を連続して行うと故障の原因となります。

水平器について

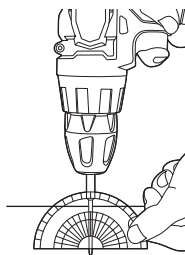
⚠ 注意

- 本体に内蔵している水平器はあくまで目安です。精度を求める場合は分度器を用いて調整してください。

〈水平の場合〉

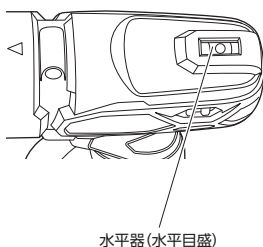


〈垂直の場合〉



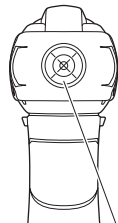
- 水泡が中心にくるように本体角度を調整してください。

〈水平の場合〉



水平器(水平目盛)

〈垂直の場合〉



水平器(垂直目盛)

ねじ締め

⚠ 注意

- ビットの先端は、ねじ頭の溝に完全に差し込んだ状態で使用してください。
- 締め付けるねじに対して本体をまっすぐに保持してください。本体がねじに対して斜めになっていると、ねじ頭の溝をいためることがあります。
- ねじに合ったビットを使用してください。使用するビットがねじに合った物でない場合、ねじをいためる原因となります。
- 小さすぎるねじには使用しないでください。ねじ頭の溝がつぶれる場合があります。
- ドリルマーク(🔪)位置でねじ締めは行わないでください。ねじや相手材をいためるだけでなく、故障の原因となります。

1. 先端工具を本体に取り付けてください。(P12参照)

2. クラッチ目盛を「1」に合わせます。

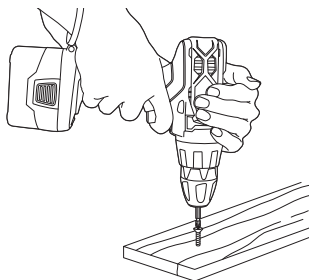
3. 正回転に設定します。

4. 先端工具をねじ頭の溝にきちんとあて、スイッチ引き金を引きながら、先端工具がねじ頭の溝から外れない程度で力押し付けてください。

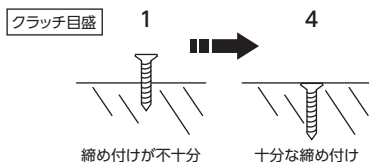
5. ねじを締め付けていき、クラッチが作動したらスイッチ引き金を離してください。

6. ねじの締め付けが十分でない場合は、クラッチ調整ダイヤルを回して締付トルクを順に高くしながら、作業に応じたトルクに調整してください。

● 径の大きいねじを締め付けるときや加工物が硬い場合などは、先に下穴をあけることで作業効率のアップ、また加工物の割れを防ぐことができます。



〈例〉木ねじを締める場合



※クラッチ目盛は例です。使用する木ねじや相手材により変わります。

使い方(続き)

穴あけ

⚠ 警告

- 穴あけ作業中、本体が振り回されることがあります。使用中は本体を確実に保持してください。確実に保持していないとけがの原因となります。
- 回転中のドリル刃には絶対に手・顔等を近づけないでください。
- 本製品は石材・コンクリート・タイル等の穴あけには使用できません。ドリル刃や加工物が破損するおそれがあります。

⚠ 注意

- 先端工具は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- ドリル刃は加工物に合ったドリル刃を使用してください。

■金属などの穴あけ

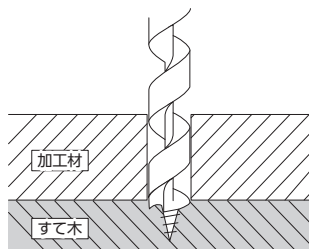
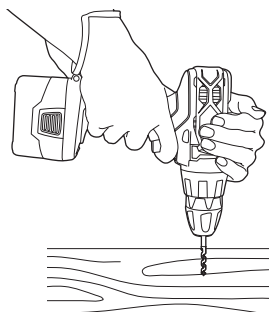
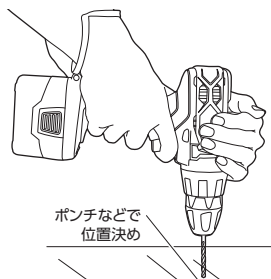
1. 鉄工用ドリル刃を本体に取り付けてください。(P12参照)
 2. クラッチ調整ダイヤルをドリルマーク(🔩)位置に合わせます。
 3. 正回転に設定します。
 4. ポンチなどで穴あけ位置にくぼみをつけ、そのくぼみにドリル刃の先端を軽くあてます。本体をまっすぐに保持したままスイッチ引き金を引き、軽く押しつけながら作業してください。
- 金属への穴あけの場合、ドリル刃の先端に切削油をつけると作業がスムーズに行えます。

※ドリル刃・ポンチ・切削油等はセット内容に含まれておりません。

■木材などの穴あけ

1. 木工用ドリル刃を本体に取り付けてください。(P12参照)
2. クラッチ調整ダイヤルをドリルマーク(🔩)位置に合わせます。
3. 正回転に設定します。
4. ドリル刃の先端を穴あけ位置に軽くあて、本体をまっすぐに保持したままスイッチ引き金を引いてください。

- 裏側に不要な材料(すて木)をあて、一緒に穴をあけると裏側もきれいに仕上がります。



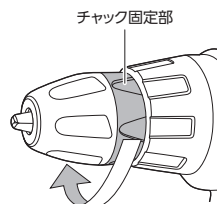
お手入れ

キーレスチャックがゆるんだときは

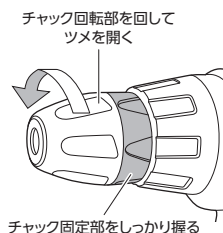
⚠ 注意

- キーレスチャックは締付作業中にゆるむ場合があります。ゆるんだ場合は、下記の要領で締め直してください。
- しっかりと締め直すことができない場合は、無理をせずお買上げの販売店に修理をお申しつください。

1. 本体をしっかりと保持して、チャック固定部を正面から見て右方向に突き当たるまで回して締め付けてください。

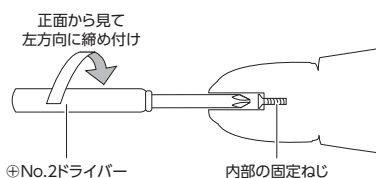


2. 先端工具の取り外しの要領でチャック回転部を回してチャックのツメを開いてください。



3. キーレスチャック内部の固定ねじ(左ねじ)を⊕No.2ドライバーで正面から見て左方向に回して強く締め付けてください。

※⊕No.2ドライバーはセット内容に含まれておりません。



お手入れ(続き)

⚠ 警告

- お手入れのときは、バッテリーパックを取り外してください。
- 故障・異常時は直ちにスイッチを切って本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。

保守・点検

先端工具の点検

- 先端工具は消耗品です。作業により変形・摩耗・劣化しますので定期的に点検し、異常がみられた場合はすぐに交換してください。

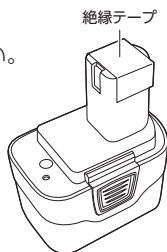
各部取付ネジの点検

- 各部取付けねじでゆるんでいるところがないか定期的に点検してください。ゆるんでいるところがあれば、締め直してください。

お手入れと保管

バッテリーパックについて

- バッテリーパックはなるべく使い切ってから充電してください。
- 約300回の充放電が可能です。
- バッテリーパックは消耗品です。フル充電を行っても、能力が初期の半分以上になった場合は、バッテリーパックの寿命ですので使用せず新しいバッテリーパックをお買い求めください。
- バッテリーパックの寿命は、使用頻度・使用状況等によって異なります。
- 長期間使用しない場合はバッテリーを長持ちさせるためにバッテリーパック(ニカド電池)は使いきってから保管することをお勧めします。
- 充電後、約3か月以上放置したバッテリーパックは、自然放電により蓄電能力が低下します。蓄電能力維持のため、3か月に一度は充放電を行ってください。
- バッテリーパックを保管・携帯する場合は、絶縁テープを端子部分に貼り付けてください。



不要になったバッテリーパックは、環境保護のため一般のごみと一緒に捨てずに最寄のリサイクル協力店(リサイクル表示のある販売店)までお持ちください。



Ni-Cd

清掃

- 使用後は本体や先端工具の汚れやほこりをきれいに取り除いてください。
- 本体のお手入れに、ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(破損・故障の原因)
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

保管

- 使用しないときは、50℃以上になる場所を避け、風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な場所、又は鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
- 保管するときは安全のため、回転方向切替スイッチを中央位置にしてください。

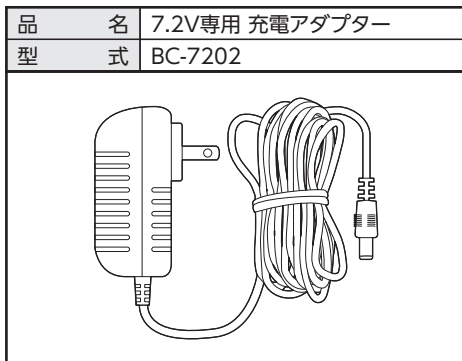
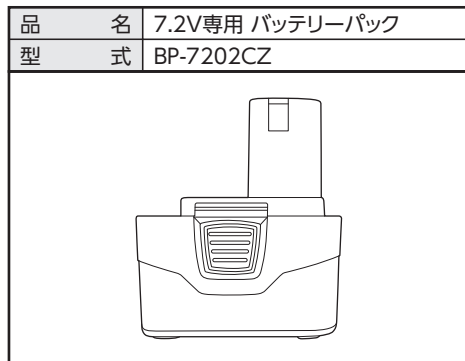
MEMO

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

お買上げの後に

別売品のご紹介

●バッテリーパック・充電アダプターのお取扱いにつきましては、本製品ご購入の販売店にてお問い合わせ・ご注文をお願いします。ご注文のときは、下記の「品名・型式」をお伝えください。



お買上げの後に(続き)

保証書

販売証明書が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品名	7.2V水平器付き充電ドリルドライバー			お買上げ日	年 月 日
型式	KT-08	JANコード	4549509 236795	保証期間	お買上げ日より6ヶ月
販売店	販売証明書を添付してください。				

販売元：株式会社カインズ

保証規定

1. 本書はお買上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などは適用外となります。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 家庭用以外(例：業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い
弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

■販売元 株式会社 カインズ
【総合お問い合わせ先】 0120-87-7111 MADE IN CHINA



■輸入元 株式会社 高儀
【使用方法のお問い合わせ窓口】 0258-66-1233 受付時間 AM9:00～PM5:00 (土日祝日および弊社休日を除く)
修理(見積り含む)および別売品などの購入は、お買上げの販売店にご依頼ください。上記相談窓口では直接対応はできません。あらかじめご了承ください。